

木曾街道をめぐる物語 歌川国芳「木曾街道六十九次之内」を楽しむ



歌川国芳
「木曾街道六十九次之内」

大井 斧定九郎 大判錦絵揃物の内
嘉永5年(1852年)

中山道(木曾街道)をテーマとする作品のうち、最も著名な歌川広重・溪斎英泉「木曾海道六拾九次之内」と並んで、広重と同年代の浮世絵師で、浮世絵版画における武者絵の大成者として近年著名になった歌川国芳による「木曾街道六十九次之内」の展示を行います。

この作品では、宿場の風景は画面左に設けられた小さな枠の中に描かれるのみ。画面中央に描かれるのは、木曾街道の宿場名に由来する、あるいは宿場名との語呂合わせで連想された物語上(多くは歴史上)の人物たちでした。

左の図版は、当地を描いた「大井 斧定九郎」です。国芳は当地を描くにあたり、「仮名手本忠臣蔵」五段目の斧定九郎を取り上げ、老人から五十両を奪うため「おゝい、おゝい、おやじどの」と呼び掛ける言葉を地名の「大井」と掛けています。

本展では、こうした言葉遊びの要素が強い作品を楽しんで見ていただくべく、物語解説と共に展示し、展示室内で笑っていただこうと思います。

会期:12月7日(木)～2月4日(日)

第1期:12月7日(木)～12月24日(日)

第2期:1月2日(火)～2月4日(日)

毎週月曜日(祝日を除く) 祝日の翌日(土日・祝日を除く) 12月4～6日、12月25日～1月1日、1月3日休館

1月2日は特別会館・市民は観覧無料

次号は1月1日号

発行日は12月22日(金)です

広報えな No.49

2006年(平成18年)12月1日発行

発行 恵那市役所

編集 まちづくり推進課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

編集後記

日に日に寒さが増してきました。祭りやスポーツイベント、文化祭などでにぎわった秋も終わり、冬がやって来ました。スケートシーズンの到来です。2度目の冬を迎えた恵那スケート場。昨シーズンは、指導者や選手の人物紹介、スケート教室やカーリング教室などの取材で何度も施設を訪れ、記事を紙面に掲載してきましたが、私自身、スケートを滑らずにシーズンが終了してしまいました。楽しそうに氷上を滑る姿を見るだけではなく、今年こそはリンクデビューを果たし、スケートの魅力を実感したいと思います。また紙面でも、厳しい練習に耐え、恵那スケート場から大舞台を目指す選手の皆さんを応援していきたいと思っています。

宮